

表2 測定・分析方法一覧（夏季調査および冬季調査）

府県名		兵庫県	岡山県	徳島県	香川県	大阪府
水温・塩分	多項目CTD	○	○	○	○	○
透明度	透明度板	○	○	○	○	○
NH ₄ -N	インドフェノール青吸光光度法	○	○	○	○	○
NO ₂ -N	ナフチルエチレンジアミン吸光光度法	○	○	○	○	○
NO ₃ -N	銅カミウムカラム還元 ナフチルエチレンジアミン吸光光度法	○	○	○	○	○
PO ₄ -P	モリブデン青（アスコルビン酸還元） 吸光光度法	○	○	○	○	○
SiO ₂ -Si	モリブデン青（アスコルビン酸還元） 吸光光度法	○	○	○	○	○
クロロフィルa	アセトン抽出蛍光法	○			○	○
	多項目CTD		○*	○		
DO	多項目CTD	○	○	○	○	○

*: 多項目 CTD の蛍光値をアセトン抽出吸光法で補正

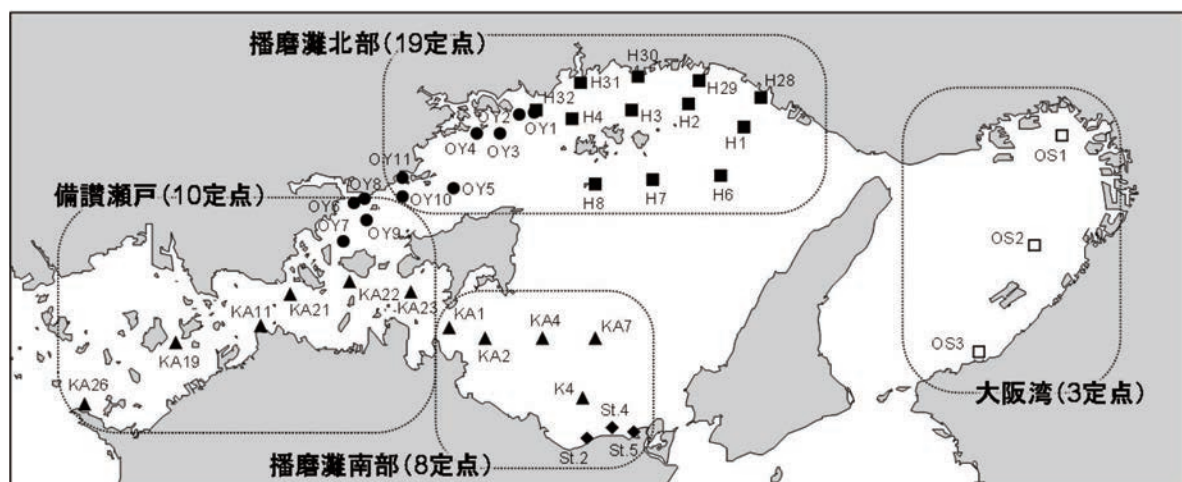


図2 冬季調査定点位置

- : 兵庫県実施定点 ●: 岡山県実施定点 ▲: 香川県実施定点
 ◆: 徳島県実施定点 □: 大阪府実施定点

表 3 観測層および調査項目（冬季調査）

府県名	兵庫県	岡山県	徳島県	香川県	大阪府
観測層	0.5, 5 or 10, B-1m	0.5, 2.5 or 5 or 10, B-1m	1, 5, 10, B-1m	0.5, 10, B-1m	0.5, 5, 10, B-1m
調査定点数	12	11	3	11	3
調査回数	10	4	6	8	4
調 査 項 目	水温	○	○	○	○
	塩分	○	○	○	○
	透明度	○	○	○	○
	NH ₄ -N	○	○	○	○**
	NO ₂ -N	○	○	○	○**
	NO ₃ -N	○	○	○	○**
	DIN	○	○	○	○**
	PO ₄ -P	○	○	○	○**
	SiO ₂ -Si	○	○	○	○**
	クロロフィル _a	○	○	○	○**
	DO	○	○	○	○**
	プランクトン*				
	<i>Eucampia zodiacus</i>	○	○	○	○
	<i>Coscinodiscus wailesii</i>	○	○	○	○
	その他	○	○	○	○

*: *C. wailesii* は海水（100 mL～1 L）を濃縮して計数。その他は生海水 1 mL 中の細胞数を計数。

** : K4(全層)および KA19(底層)は測定なし。その他は 0.5 m と底層(20～B-1 m)で測定。

兵庫県: 5 m 層は H28～32, 10 m 層は H1～8 で測定。

岡山県: 2.5 m 層は OY6 および 11, 5 m 層は OY1～4 および 10,

10 m 層は OY5 および 7～9 で測定。

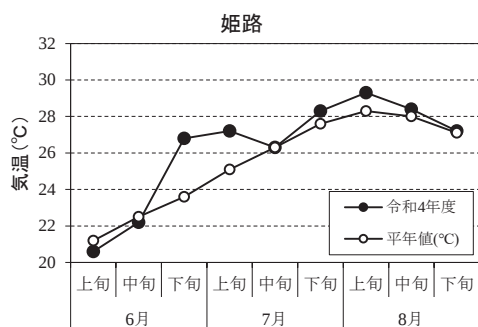


図 3 気温の旬平均値の変動
(気象庁気象統計情報から引用)

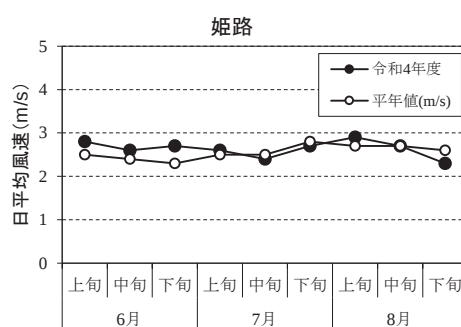


図 4 日平均風速の旬平均値の変動
(気象庁気象統計情報から引用)

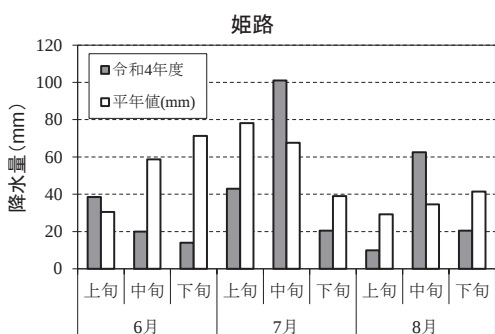


図 5 降水量の旬合計値の変動
(気象庁気象統計情報から引用)

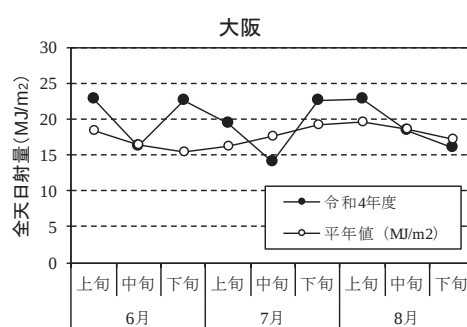


図 6 全天日射量の旬平均値の変動
(気象庁気象統計情報から引用)

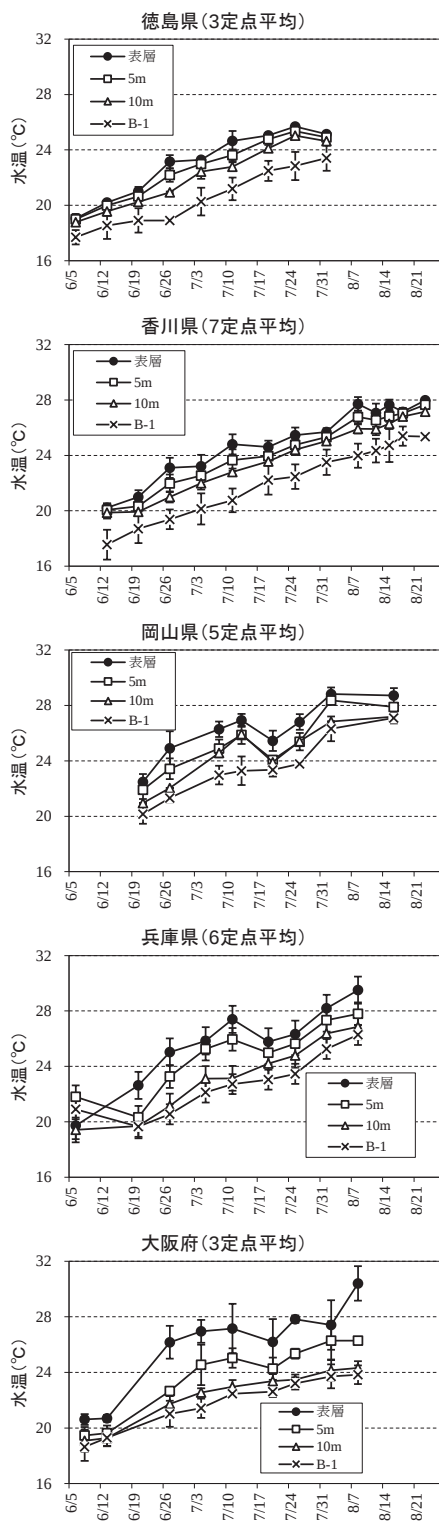


図7 水温の変動(縦バーは標準偏差。以下同じ)

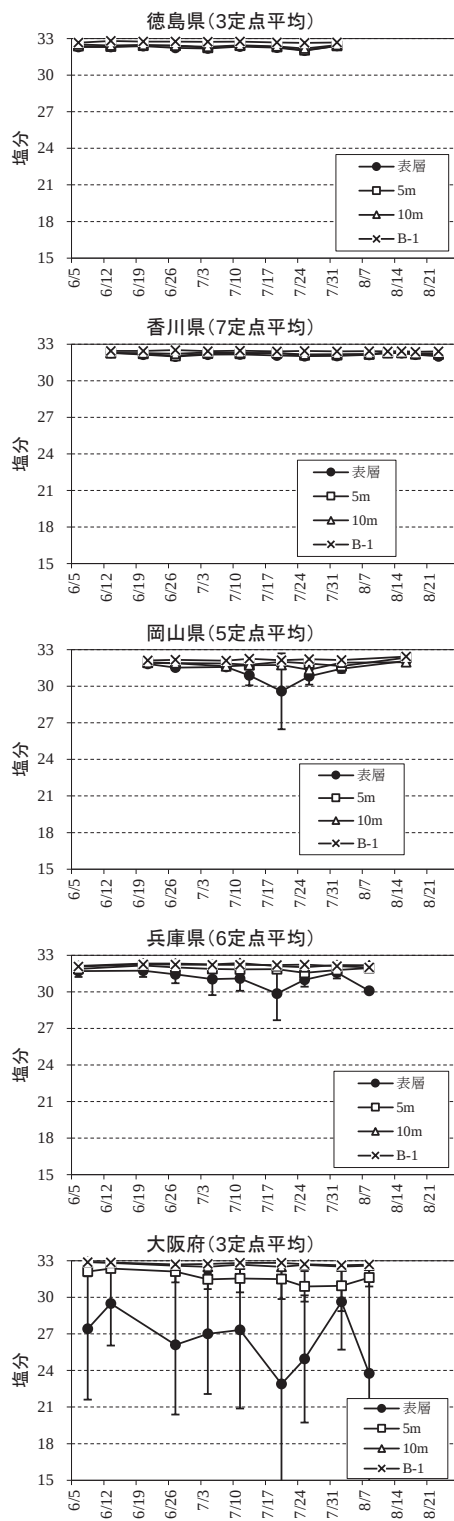


図8 塩分の変動

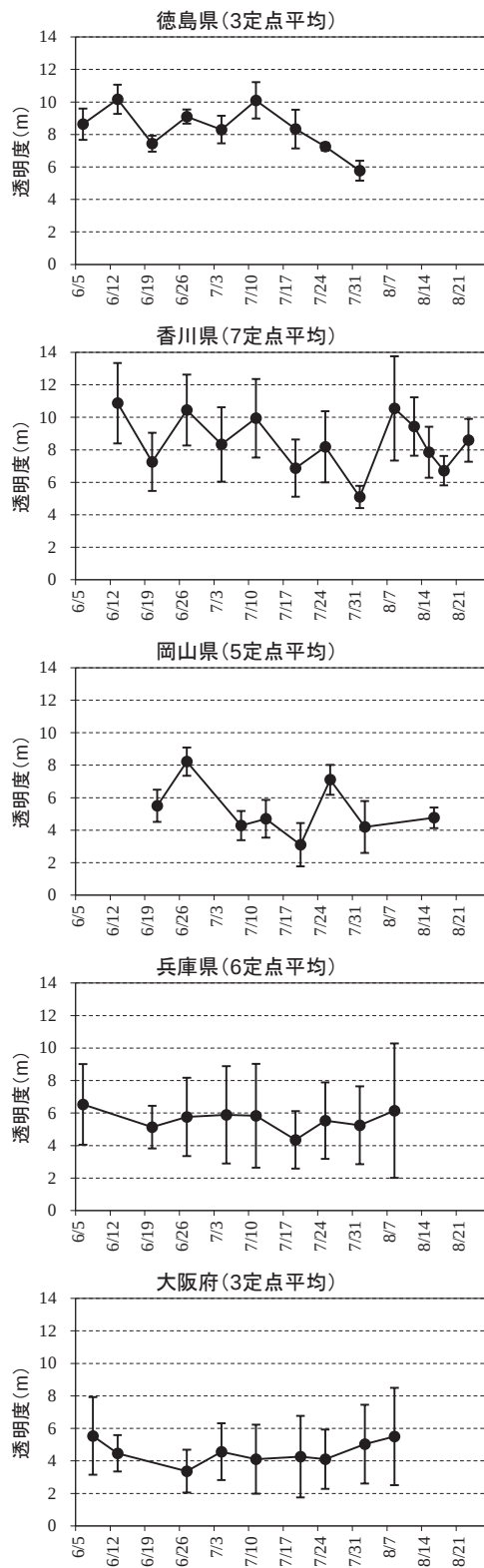


図9 透明度の変動

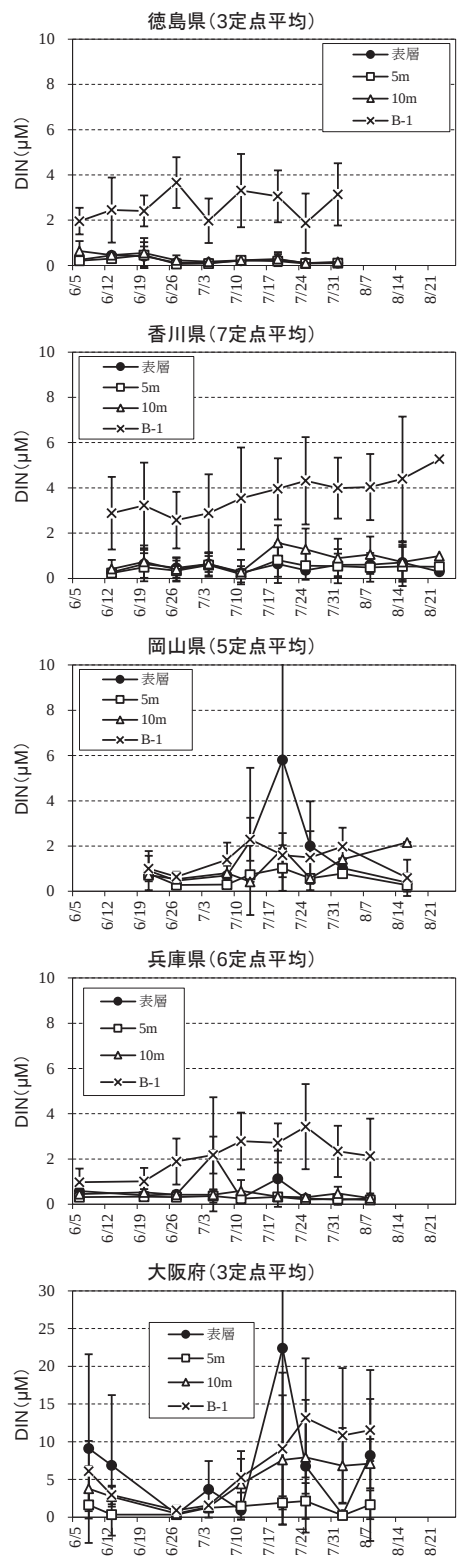


図10 DINの変動

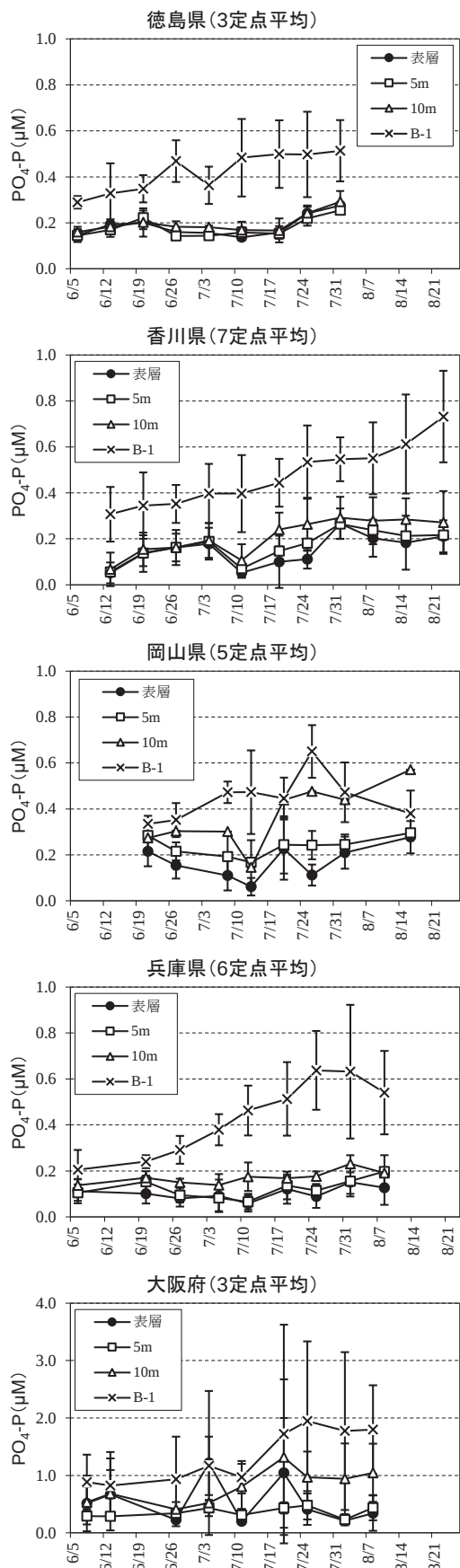


図 11 PO₄-P の変動

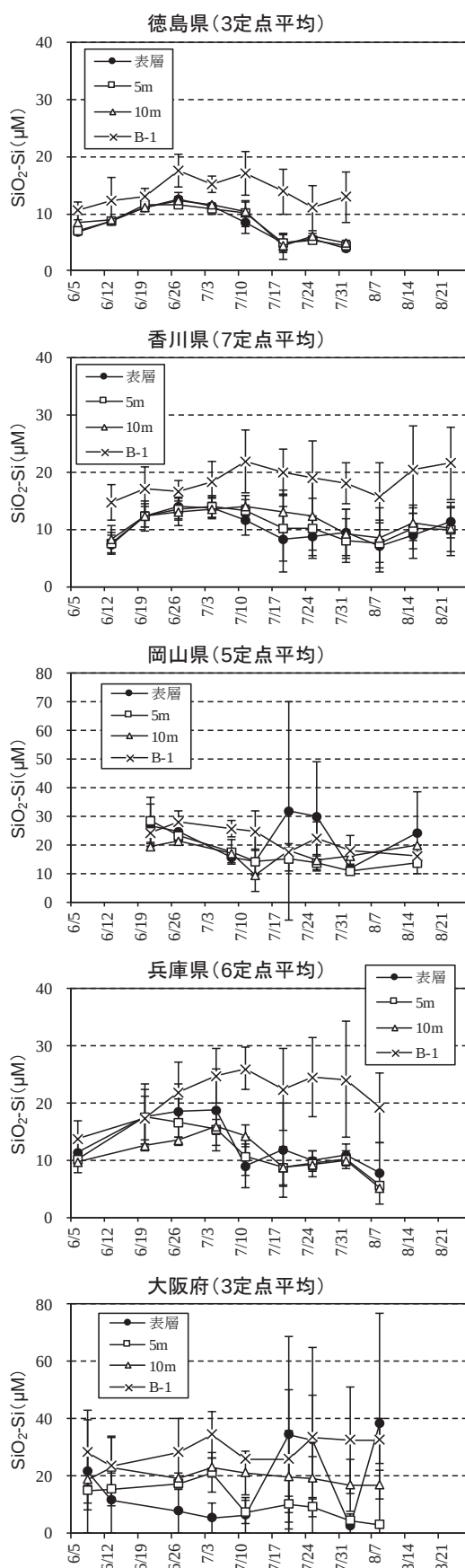


図 12 SiO₂-Si の変動

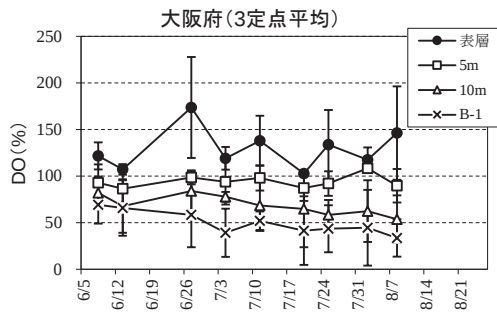
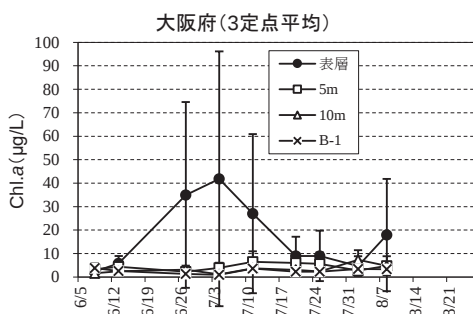
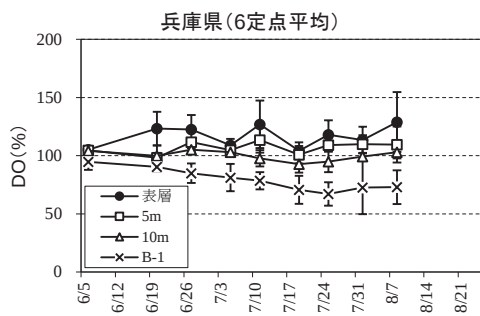
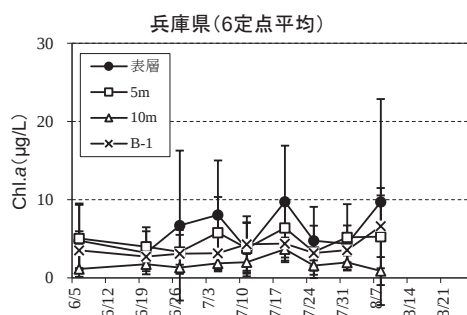
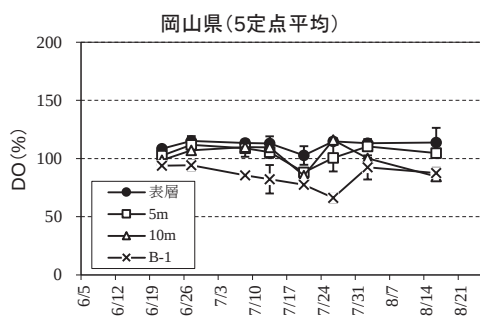
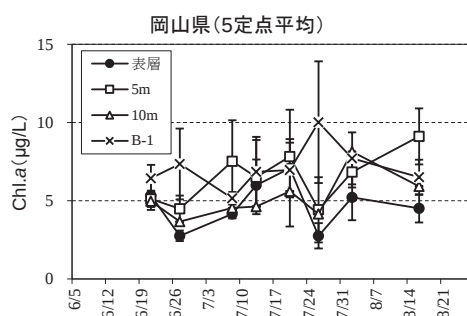
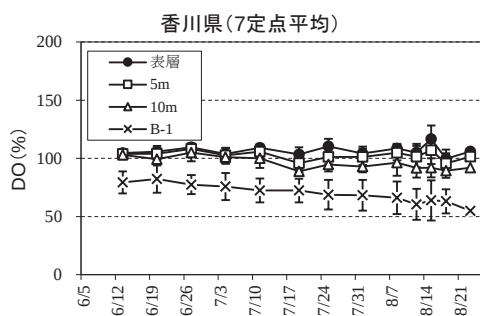
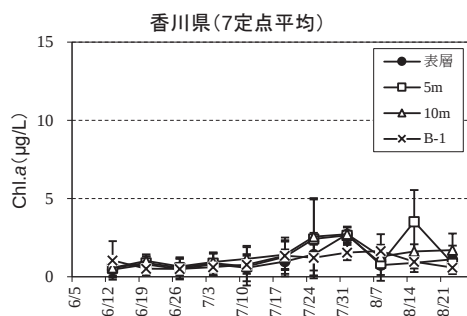
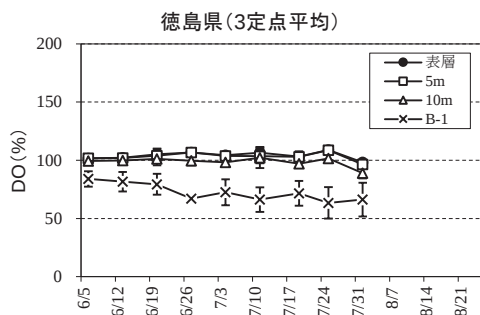
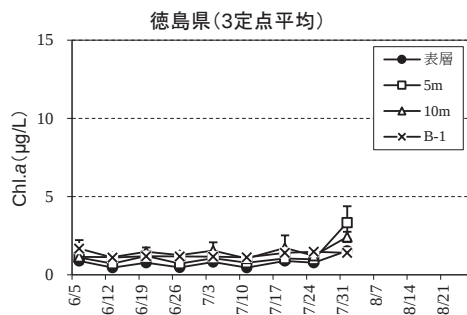


図 13 Chl. *a* の変動

図 14 DO の変動

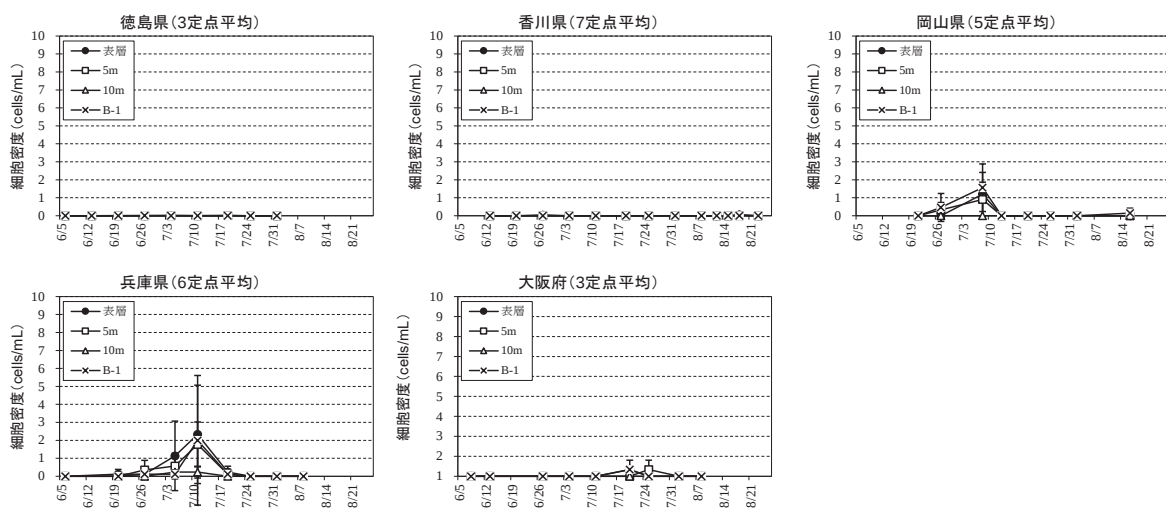


図 15 *Chattonella antiqua* + *C. marina* の細胞密度の推移

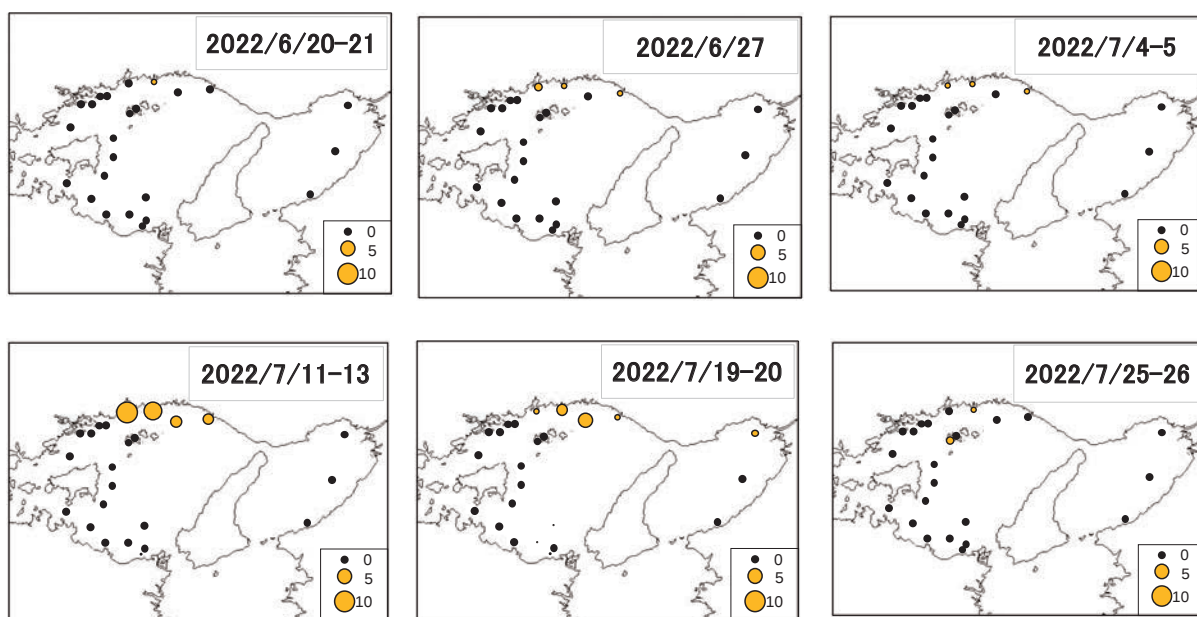


図 16 6 月下旬から7 月下旬までの *Chattonella antiqua* + *C. marina* の細胞密度の水平分布
(各調査日、定点において最高細胞密度を記録した層のデータを示した。)

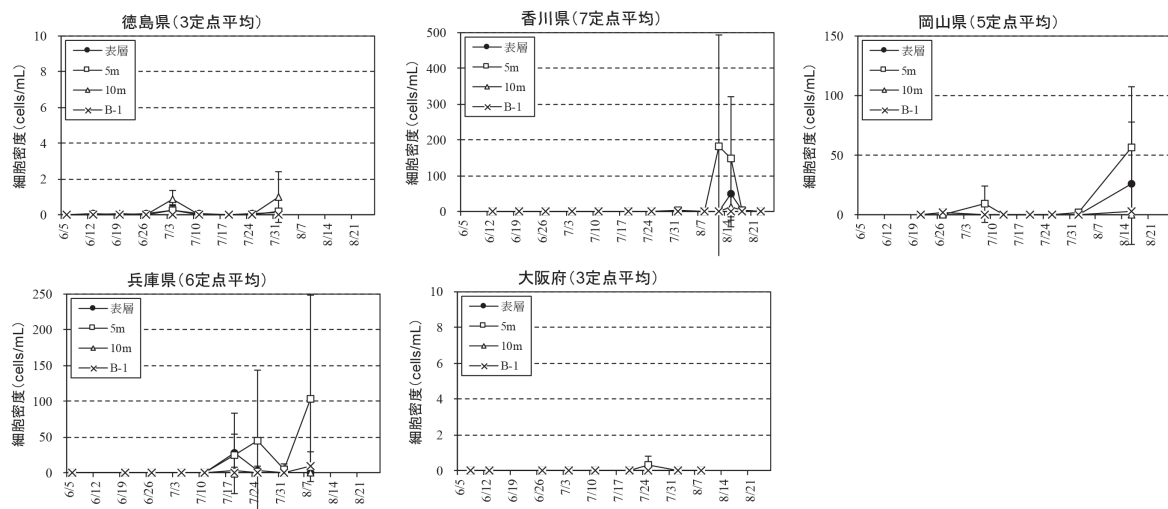


図 17 *Karenia mikimotoi* の細胞密度の推移

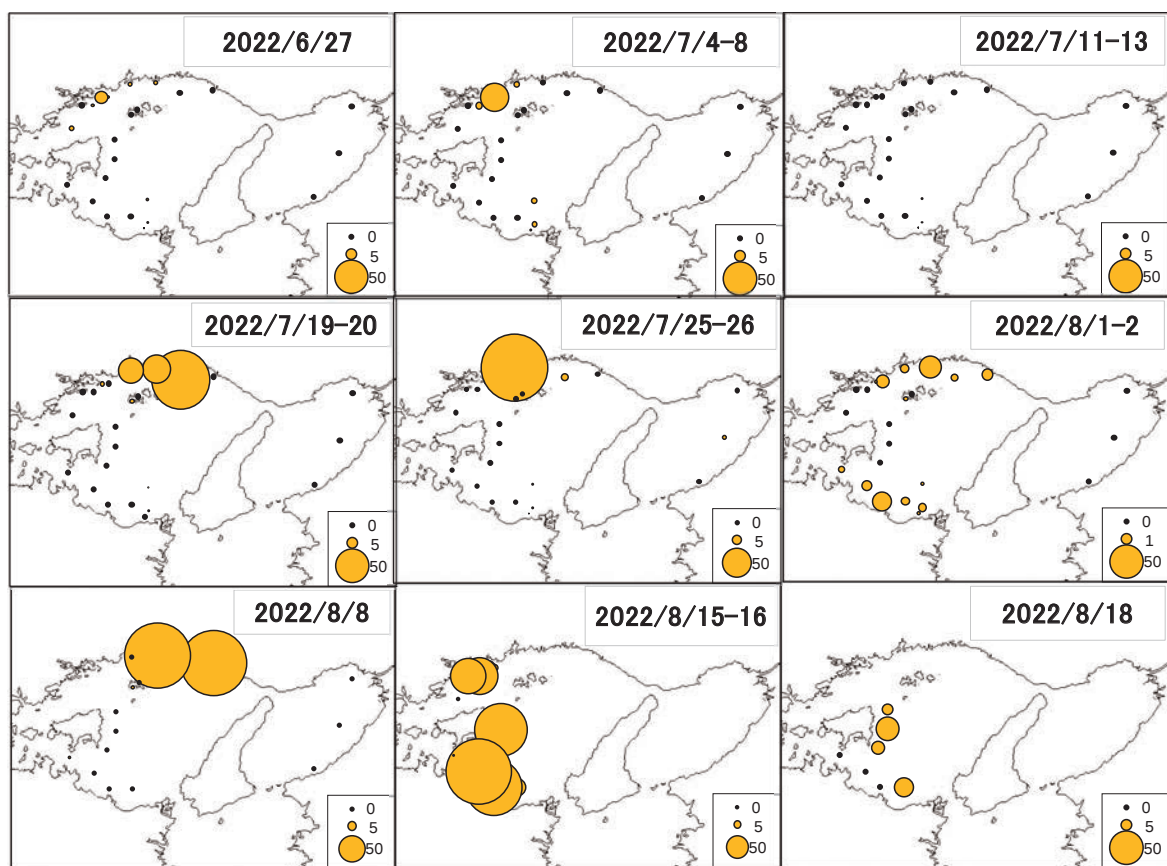


図 18 6 月下旬から 8 月中旬までの *Karenia mikimotoi* 細胞密度の水平分布(各調査日、定点において最高細胞密度を記録した層のデータを示した。)